

コペンハーゲン大学 BRIC での研究

西村耕太郎

2016年から2年間、「頭脳循環を加速する戦略的国際研究 ネットワーク推進プログラム」によりデンマーク、コペンハーゲン大学に属する Biotech Research and Innovation Centre (BRIC) の Kristian Helin group に留学の機会をいただきました。

Kristian 教授の研究室では、「ヒストン修飾や DNA メチル化などエピジェネティック制御の分子メカニズムの解明」と「白血病や脳腫瘍の新たなエピジェネティック治療ターゲットの探索」を中心に研究が行われています。私も「ヒストン脱ユビキチン化機構の解明」と「白血病の治療ターゲット」についてこの2年間研究してきました。これまで経験したことのない実験手法を学ぶことができ大変勉強になりました。また、BRIC 研究所は非常にオープンな雰囲気です。毎日のように他の研究室のメンバー同士の交流があります。ヨーロッパの研究所や大学とも非常に密に連携をとっているため、まるで隣の研究室であるかのように、すぐにデータの共有や共同研究が行われています。

研究室の雰囲気は、非常に活発で、メンバーもヨーロッパ各国、中国、インドと世界各国から集まっています。毎週のミーティングでは非常に白熱した議論が行われています。議論の活発さは、訪れた人たちが皆驚くほどです。デンマークという国の教育が、



試験がなくディベートによってなされることからわかるように、議論することに長けたデンマークの雰囲気もあるように思います。

今後は、さらに今までの研究を発展させるため Kristian group で研究を続ける予定です。

(ラボリトリート)

最後にこのような素晴らしい機会を与えていただいた Kristian 教授、中西真教授をはじめとする本プログラムの担当研究者の先生方にこの場を借りて深く御礼申し上げます。